

広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

1999.2.15
No.540



尺八の素晴らしさを伝えたい

勇 憲 会 (白根支部)



尺八と民謡を愛する人たちが活動している勇憲会(白根支部)は、昭和57年に発足。毎週水曜日、午後7時から中央公民館で練習をしています。「初めて尺八の演奏を生で聞いてとても感動し、始めてみようと思いましたが」と会員の皆さん。指導に当たっている矢下勇憲さんは「初心者でもなんとか音を出すことはできますが、尺八らしい音が出るようになるには数カ月、曲が吹けるようになるまで1、3年、そして曲の表現も難しい。上達するにはやる気と根気が一番です」と話しています。

現在の会員は8人で、市民芸能祭や市民まつりなどのイベントに参加したり、特養老人ホーム「しなの園」への慰問などを行ったりしています。会長の今井清治さんは「施設への慰問では、涙を流しながら聞いてくれる人もいます。もつとレベルアップを図って、尺八のすばらしさを伝えたいですね」と話しています。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

あなたも風博士

奴 風 (東京都)

袖の竹骨を曲げて閉じ、風をはらむと風紙が袋状に膨らむ風を「風袋風」と呼んでいます。袋のようになって飛翔力を高める能力を、私は勝手に「風袋効果」と名付け、よく風談義のテーマにします。六角や袖風、ハタにもこれが顕著に見られて、性能を高めています。

奴風は風袋風の代表として、親しまれてきました。江戸時代中期の安永のころに誕生しました。奴は「我が殿大事」と忠勤に励む武士の使用人で、身分の低い下僕です。士農工商の封建の世、威張り散らして町人たちを虫けらのように扱っていた武士たち。ひげ面の奴の風を、武家屋

文・田村和雄
しろね大風と歴史の館運営委員会委員長



敷よりも高く揚げて、武士を見下ろす。江戸っ子のしゃれた心意気の風でもあります。奴風の多くは大量生産の方法だった版木刷りで、安く売られていました。新潟県では長岡市などでも作られていましたが、明治末期に廃絶しました。

交通事故の発生件数

| | |
|---------|-------------|
| 白根警察署管内 | 1月末現在 |
| | ※ () は前年同期 |
| 発生件数 | 18件 (19件) |
| 死者数 | 0人 (0人) |
| 負傷者数 | 28人 (21人) |

◎昨年10月に開設した白根市ホームページの「市長への手紙」や、広報クイズの回答はがきなどで、市や広報紙への意見・要望が多数寄せられています。◎現在は1月からスタートしたごみ指定袋制に関するものが多く、体験を通じたアイデアなどもいただいています。◎回答が必要なものは担当課と検討し、対応しています。住所、氏名を記入してお寄せください。(ま)

読者ルーム

情報公開制度・個人情報保護制度
4月1日からスタート
信頼と参加の
市政へ

市政クリップ
まちの話題
お知らせ
みんなのページ
サークル通信
あなたも風博士

